

第1回 岐阜県教科用図書

安八町・東安中学校組合教育委員採択協議会

1. 開催日時 令和8年7月17日（金） 18:20～19:00

2. 場所 安八町中央公民館教育長室

3. 出席者	(安八町教育委員)		(事務局)
委員	渡邊 幸良	教育長	棚橋 剛
委員	大橋 香代子	教育課長	梅村 明広
委員（兼東安組合委員）	板屋 千都世	教育課課長補佐	中原真奈美
委員	赤尾 徳雅		
(東安中組合教育委員)			
教育長職務代理者	中村 広美		
委員	北島 久司		

4. 議事

教育長より

(1) 教科書採択に関わる説明

教科書は、学習指導要領に沿って作られている。そして、教科用図書無償措置法に則って、教科書採択を実施する。各共同採択地区内の市町村教育委員会は、協議会を設け、その協議の結果に基づいて種目ごとに同一の教科書を採択しなければならない。採択は毎年実施する。採択された教科書は原則として4年使用する。本日の協議会において教科書を採択（承認）し、採択結果及び理由等を公表する。

教育委員からの意見

- ・ 渡邊委員：中学校の理科の教科書は、「理科」という表記ではなく、「科学」となっている。これからのことを考えられていると感じる。音楽では、器楽が入っている。芸術系に概念が変わってきているというイメージをもった。技術は専門性が高く、特にコンピューターの内容を扱い、近未来を考えた教科書であると感じた。
- ・ 大橋委員：色鮮やかで、文字も大きく分かりやすい。表や絵の配置もよく考えられている。二次元コードが使われていることがよい。いつでも見直すことができる。
- ・ 板屋委員：算数と数学に着目すると、中学校の教科書は、シンプルで分かりやすく、とても見やすい。小学校の教科書は、絵がたくさんあり、苦手意識をもたず入りやすいと感じた。
- ・ 赤尾委員：表紙のデザイン性が高く、子ども達が手に取りやすい。子どもの興味を引きやすいつくりになっている。
- ・ 中村委員：以前の教科書より、さらにカラーできれいになっていると感じる。中学校の数学の教科書は、解説が丁寧で分かりやすい。
- ・ 北島委員：昔の教科書よりも情報量が多い。いろいろと興味をもてるような工夫がある。

- ・ 棚橋教育長：二次元コードで読み取れることによって、いつでも見直すことができ、自分で学習が進められる。学校では、教科書を教えるのではなく、教科書で教えるということ大切にしている。

5. 議決

協議の結果、小学校・中学校とも採択原案のとおり決定した。